

【NEWS RELEASE】

2021年4月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

ロザイ工業株式会社に「SDGs推進シンジケーション」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、ロザイ工業株式会社（代表取締役社長執行役員：小林 太郎）に「SDGs推進シンジケーション」を実施いたしました。

「SDGs推進シンジケーション」は、シンジケートローン実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する商品です。

今回対象となりました、ロザイ工業株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 工業炉の熱プロセスにおける省エネ性の追求による温室効果ガスの削減

| | |
|--------------------------------|---|
| 目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに | 7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。 |
| 目標 11 住み続けられる まちづくりを | 11.6 2030年までに、大気の状態および一般ならびにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人あたりの環境上の悪影響を軽減する。 |
| 目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう | 9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術および環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。 |

② 遠隔監視システムによる安全性と効率性への貢献

| | |
|------------------------|--|
| 目標 8 働きがいも 経済成長も | 8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上およびイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。 |
|------------------------|--|

三井住友銀行では、「SDGs推進シンジケーション」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

| |
|--|
| このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。 |
|--|